



2026年3月期第1四半期 決算概要について

日精樹脂工業株式会社
2025年9月2日

過年度有価証券報告書等の訂正報告書の提出 及び過年度決算短信等の訂正について

訂正による過年度の連結業績への影響額

単位：百万円、比率%

	67期 (2023年3月期)				68期 (2024年3月期)				69期 (2025年3月期)
	訂正前	訂正後	差異	率	訂正前	訂正後	差異	率	実績
売上高合計	52,205	52,205	0	—	47,068	47,068	0	—	47,493
売上総利益	16,200	16,768	567	3.5%	15,034	14,002	△1,032	△6.9	13,650
一般管理販売費	13,518	13,518	0	—	13,310	13,297	△13	△0.01	13,208
営業利益	2,682	3,249	567	21.2%	1,724	705	△1,018	△59.1	442
経常利益	2,427	2,995	567	23.4%	1,340	321	△1,018	△76.0	343
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,835	2,225	390	21.2%	376	△502	△878	△233.7	76

2026年3月期第1四半期 業績の概要

2026年3月期第1四半期 連結経営成績

単位:百万円 ()内前期比

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 純利益
2026年3月期 第1四半期	9,890 (1.5%)	△148 (一)	220 (△18.1%)	82 (一)	4.29円
2025年3月期 第1四半期	9,748 (△7.2%)	93 (△68.6%)	269 (△52.2%)	△43 (一)	△2.30円

売上

- ・ 国内外の設備投資需要の停滞が続く中、積極的な販促キャンペーンを通じて需要の掘り起こしを実施し売上高は前年同四半期比1.5%増の98億9千万円となりました。

利益

- ・ 主力製品である射出成形機の需要低迷に加え、関連する周辺機器等の需要も伸び悩んだ結果、営業損失1億4千8百万円(前年同四半期実績は営業利益9千3百万円)を計上しました。
一方で、為替差益2億4千2百万を計上したことから、経常利益は2億2千万円(同18.1%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千2百万円(前年同四半期実績は親会社株主に帰属する四半期純損失4千3百万円)となりました。

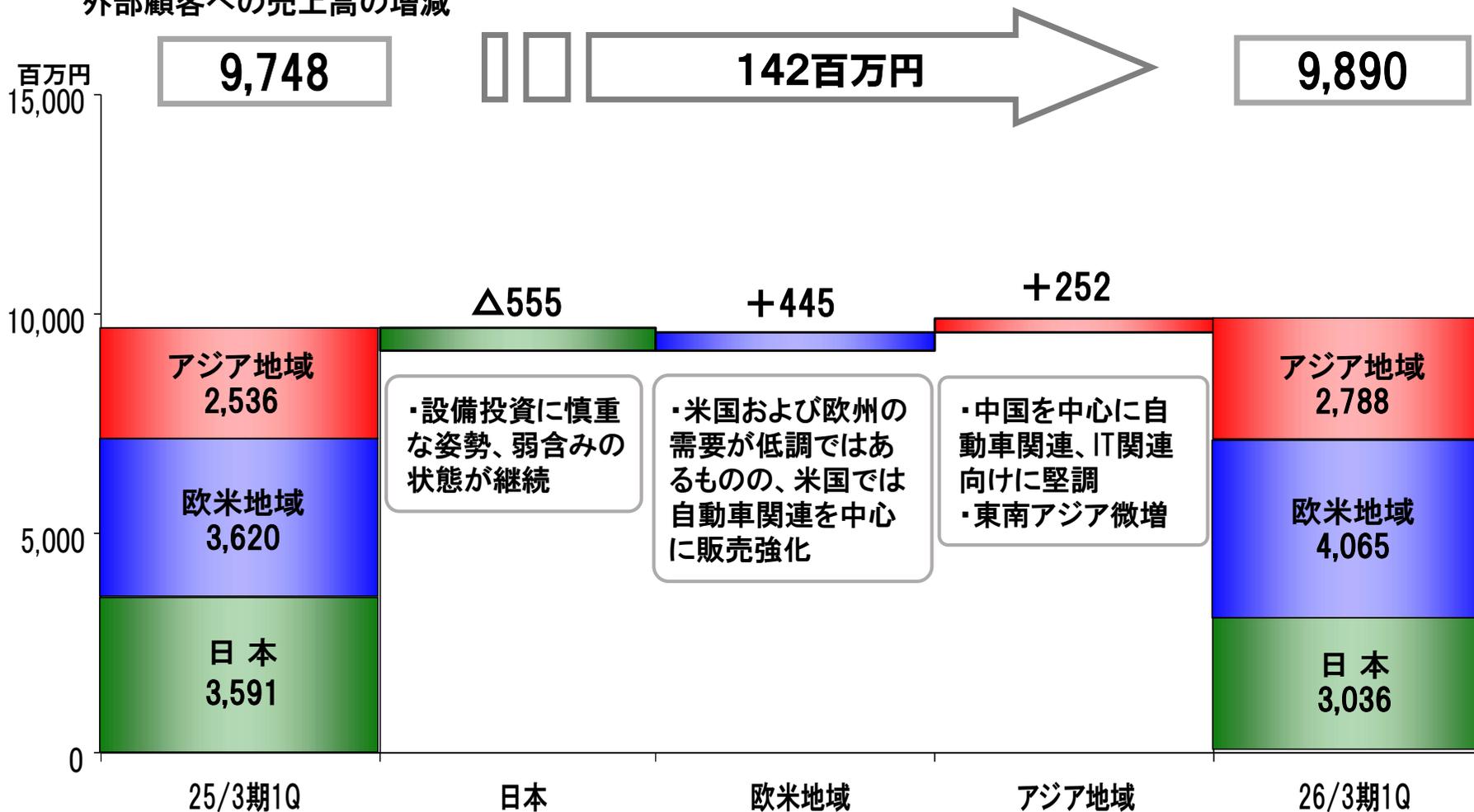
連結業績概要【前年同期比】

単位：百万円、比率%

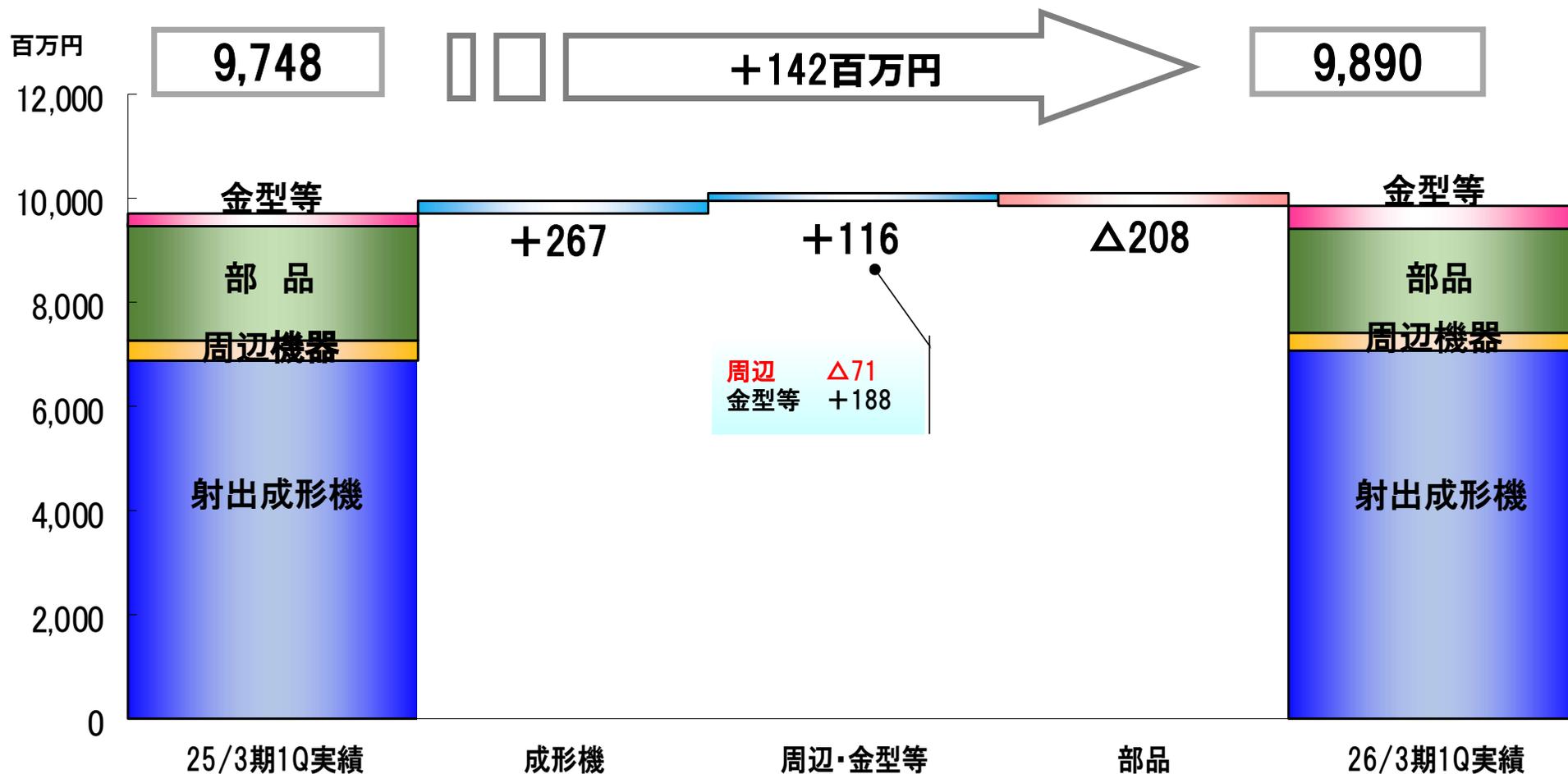
	2025年3月期 1Q実績	2026年3月期1Q		対前期比	
		計画	実績	差異	率
射出成形機	6,877	7,000	7,109	232	3.4
周辺機器	411	350	340	△71	△17.3
部品	2,186	1,000	1,978	△208	△9.5
金型等	273	40	461	188	68.7
売上高合計	9,748	9,950	9,890	141	1.5
売上総利益	2,965	3,240	3,113	148	5.0
一般管理販売費	2,871	2,940	3,262	390	13.6
営業利益	93	300	△148	△241	—
経常利益	269	400	220	△48	△18.1
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△43	250	82	126	—

連結売上高(セグメント別)増減 [2025/3期1Q⇒2026/3期1Q]

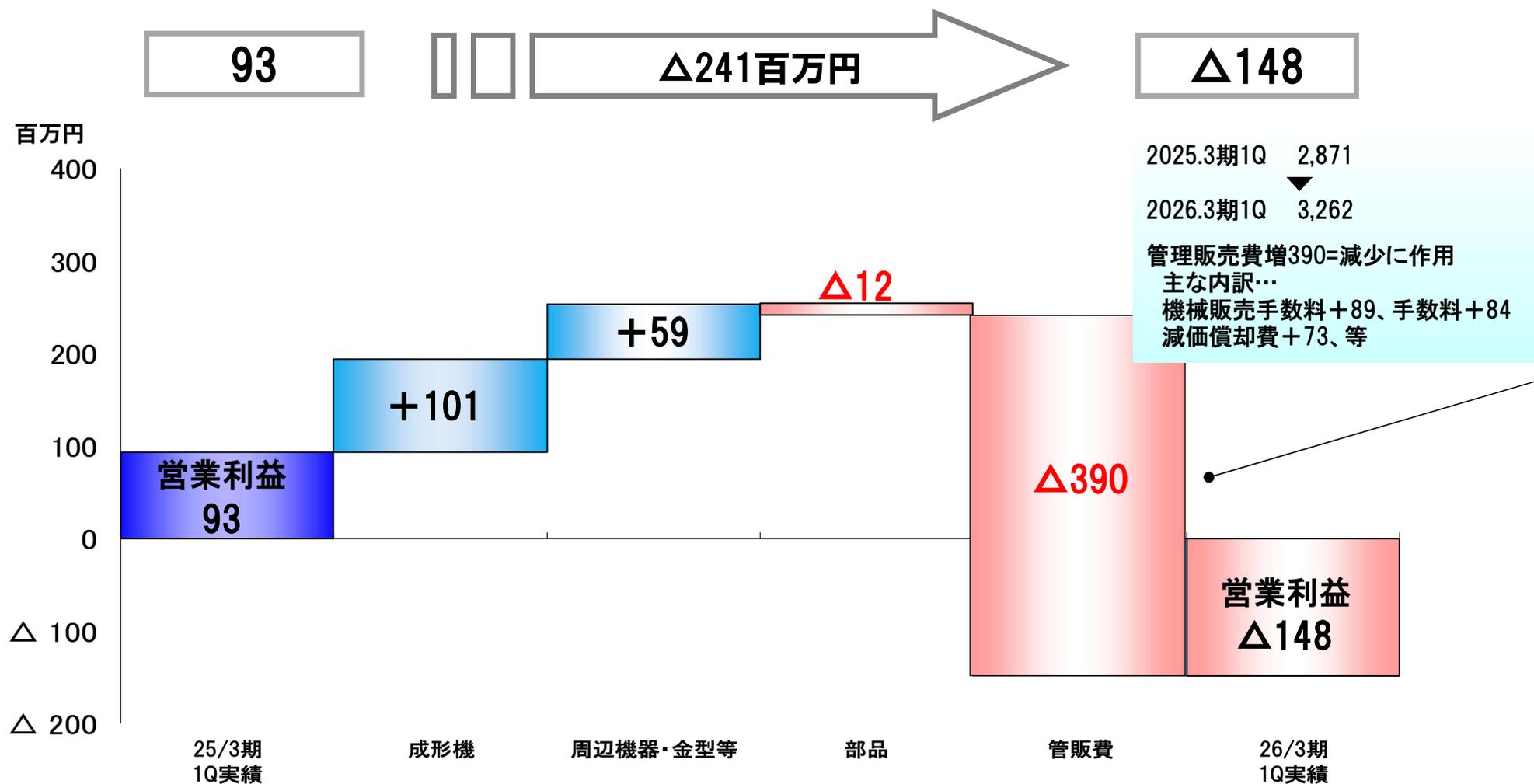
外部顧客への売上高の増減



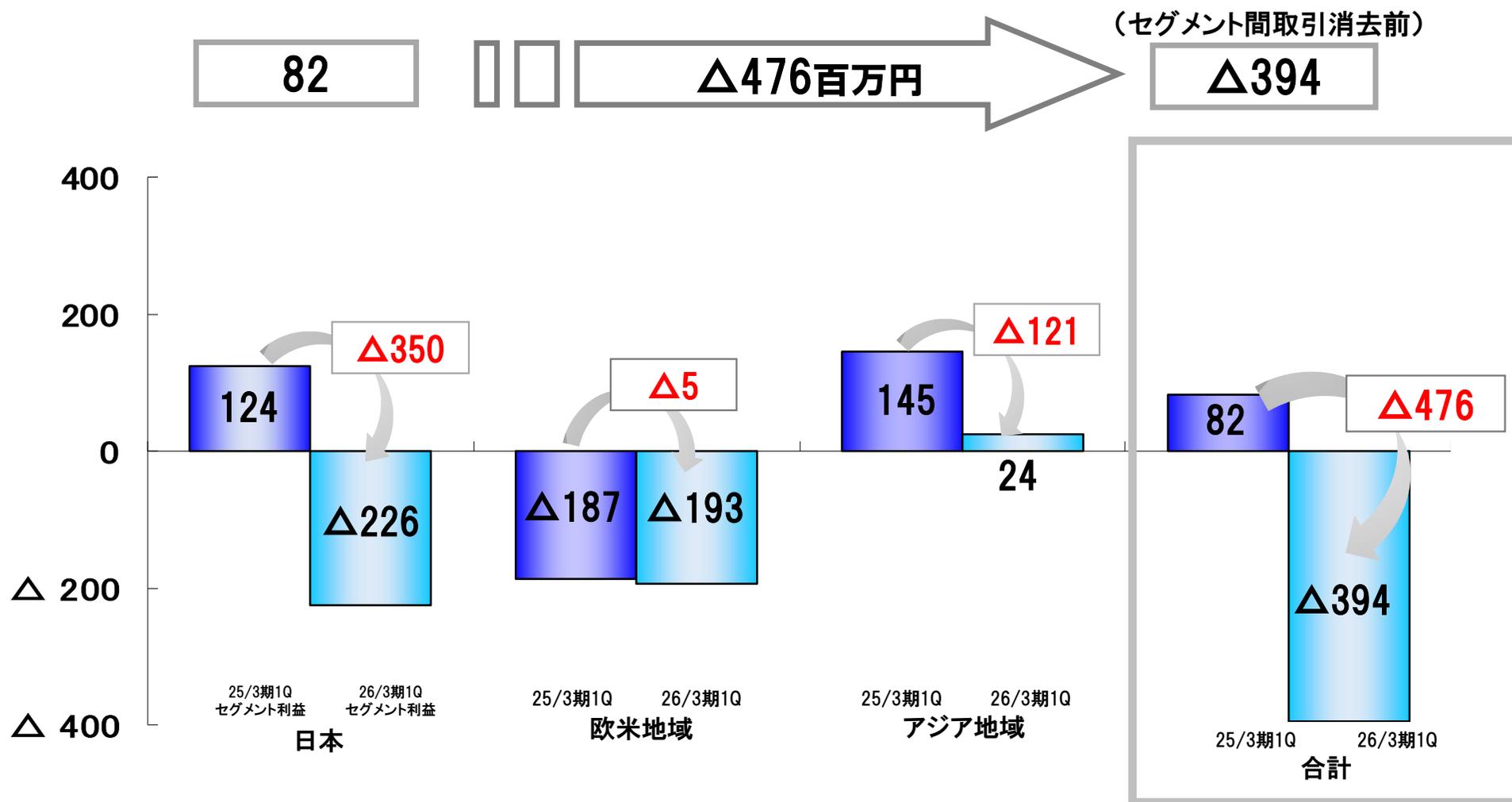
連結売上高(製品別)増減 [2025/3期1Q⇒2026/3期1Q]



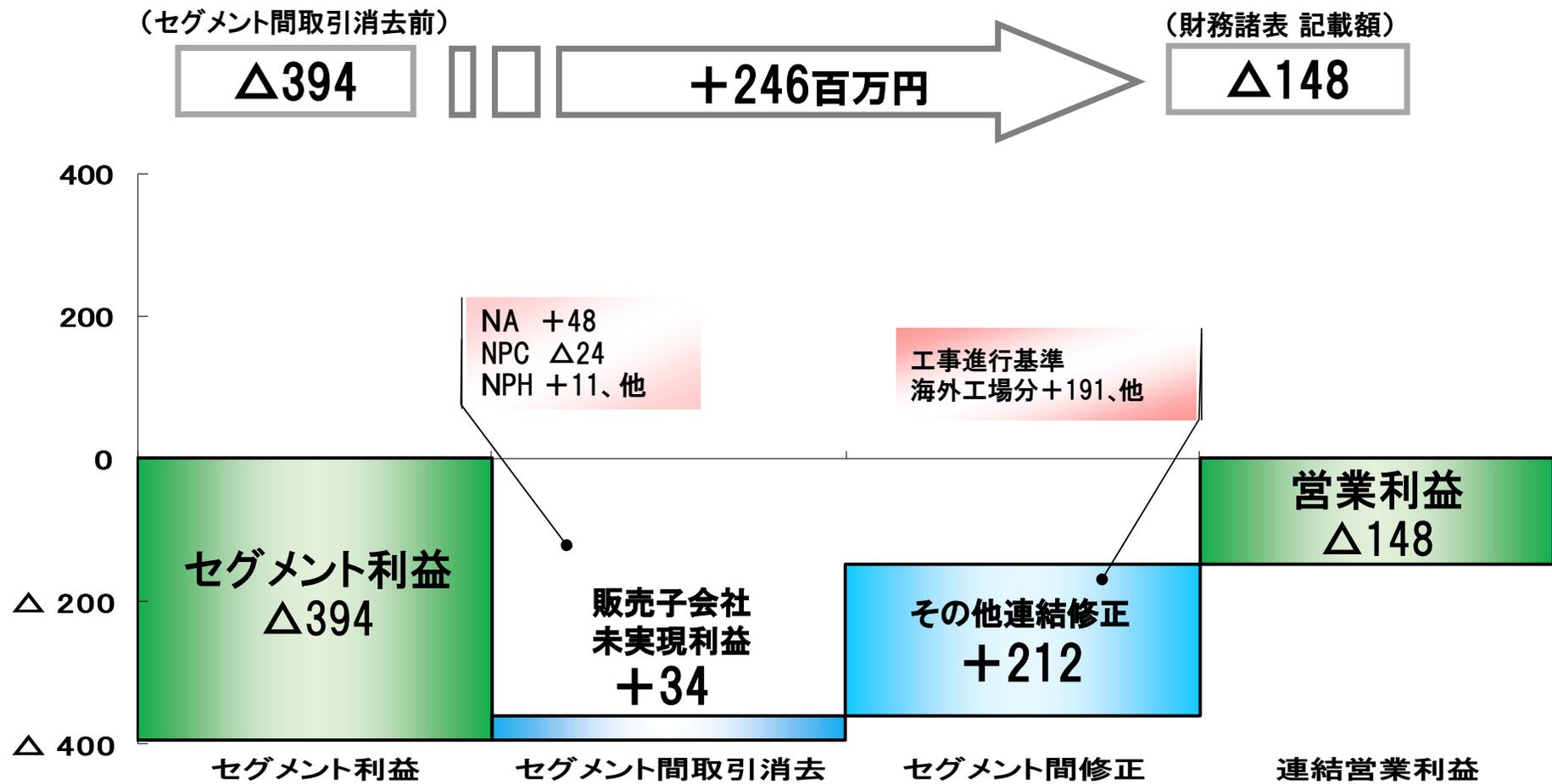
連結営業利益(製品別)増減 [2025/3期1Q⇒2026/3期1Q]



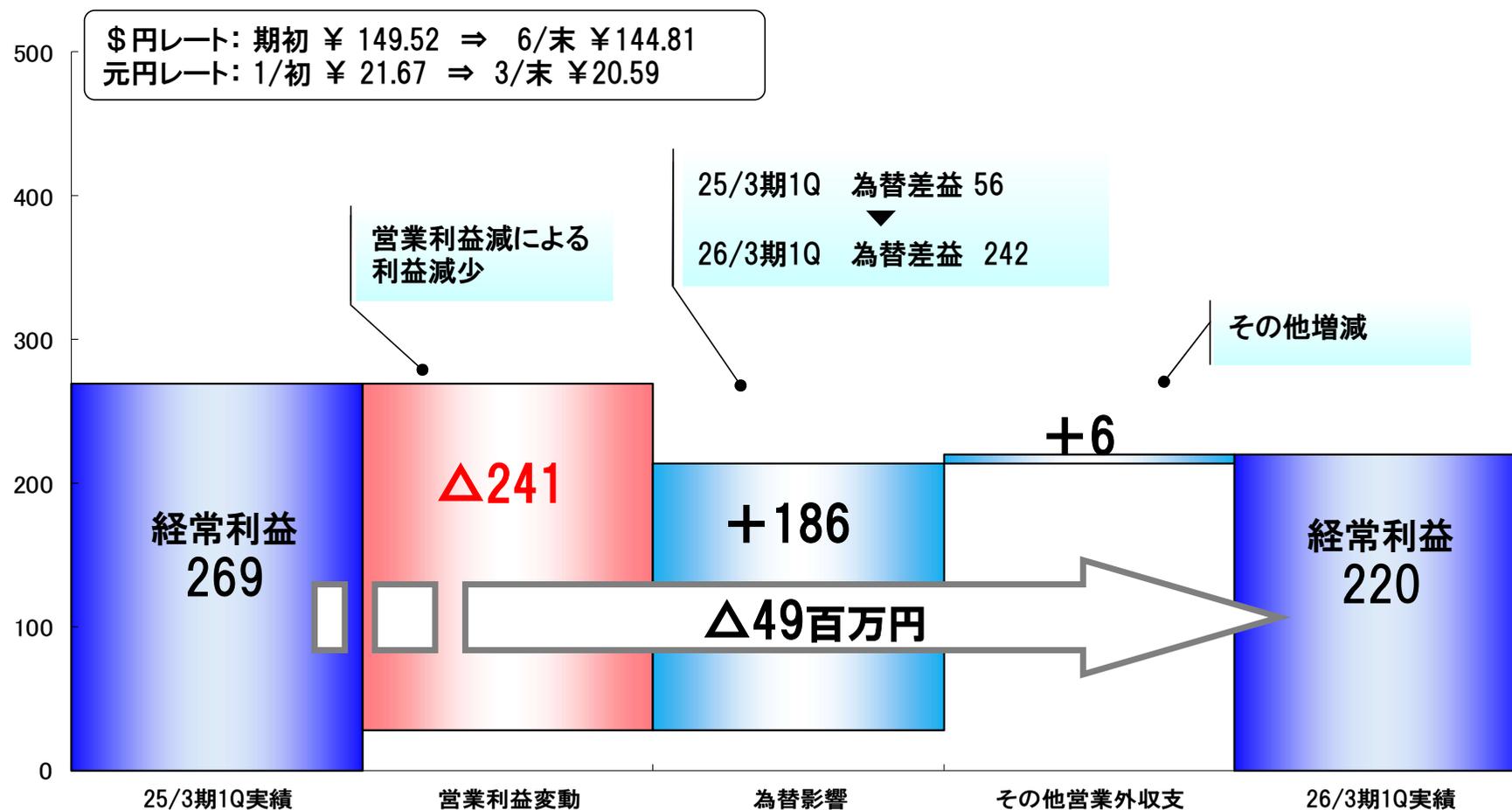
連結営業利益(セグメント別)増減 [2025/3期1Q⇒2026/3期1Q]



連結営業利益 ～セグメント間取引消去



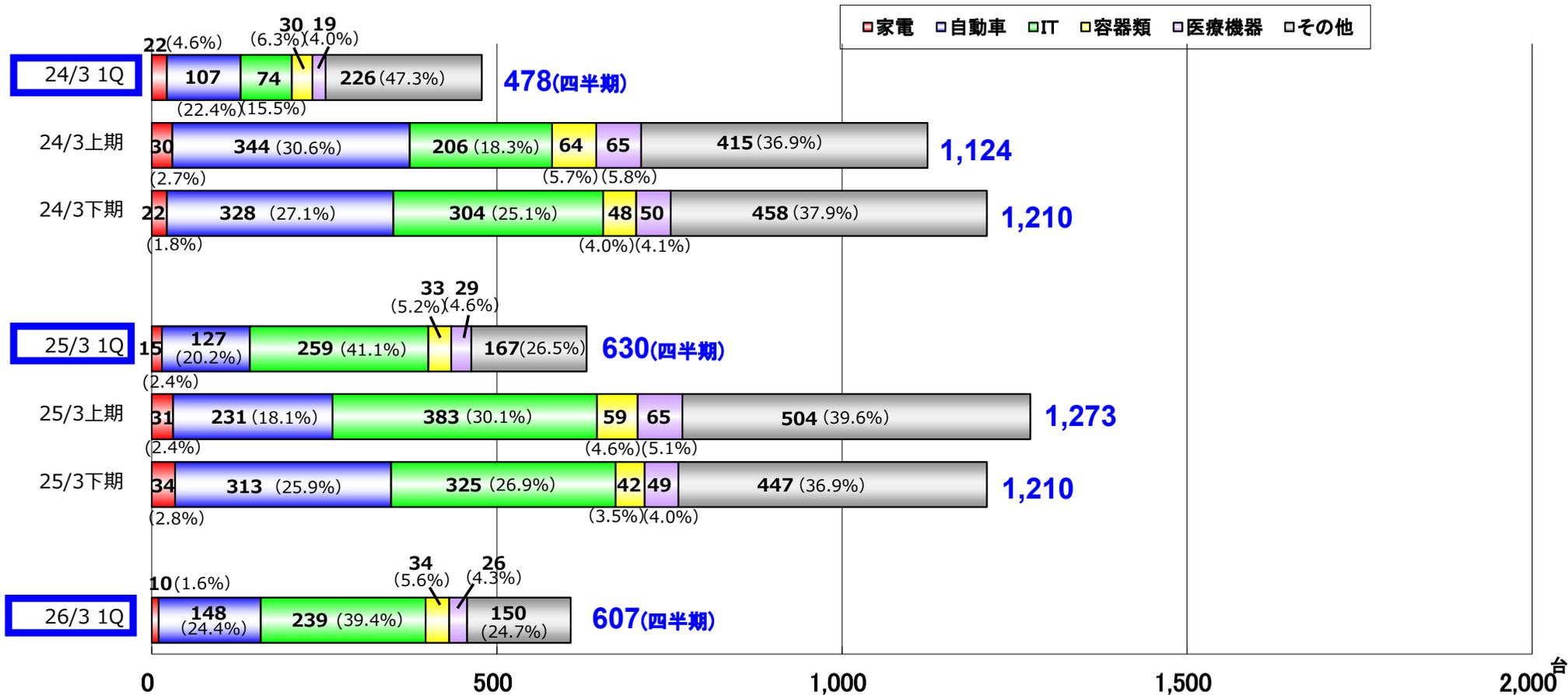
連結経常利益の増減 [2025/3期1Q⇒2026/3期1Q]



射出成形機の需要先別出荷台数推移 (当社)

2026/3期 1Q
 >自動車…国内海外共に横ばい
 >IT…東アジアを中心に堅調

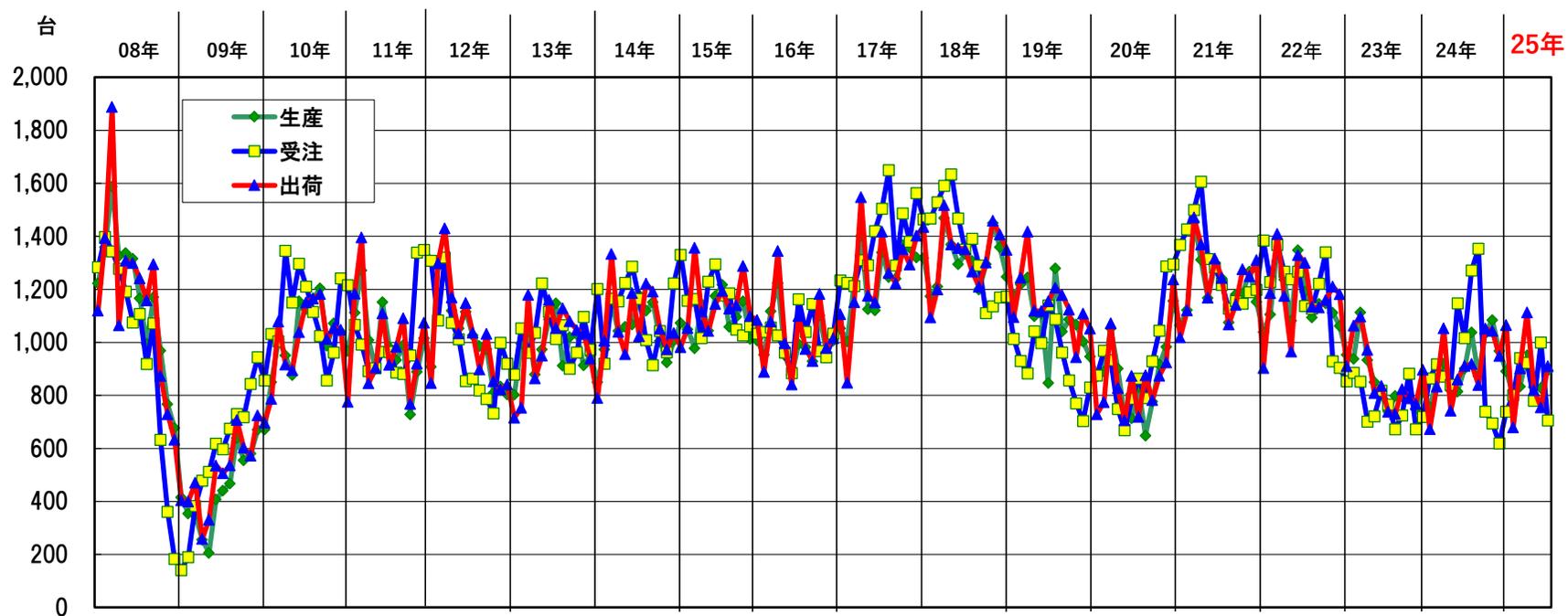
自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
 出荷の大半を占めている。



足元の需要動向（全国・当社）受注推移等について

射出成形機 受注/生産/出荷の推移 (全国 2008年からの推移)

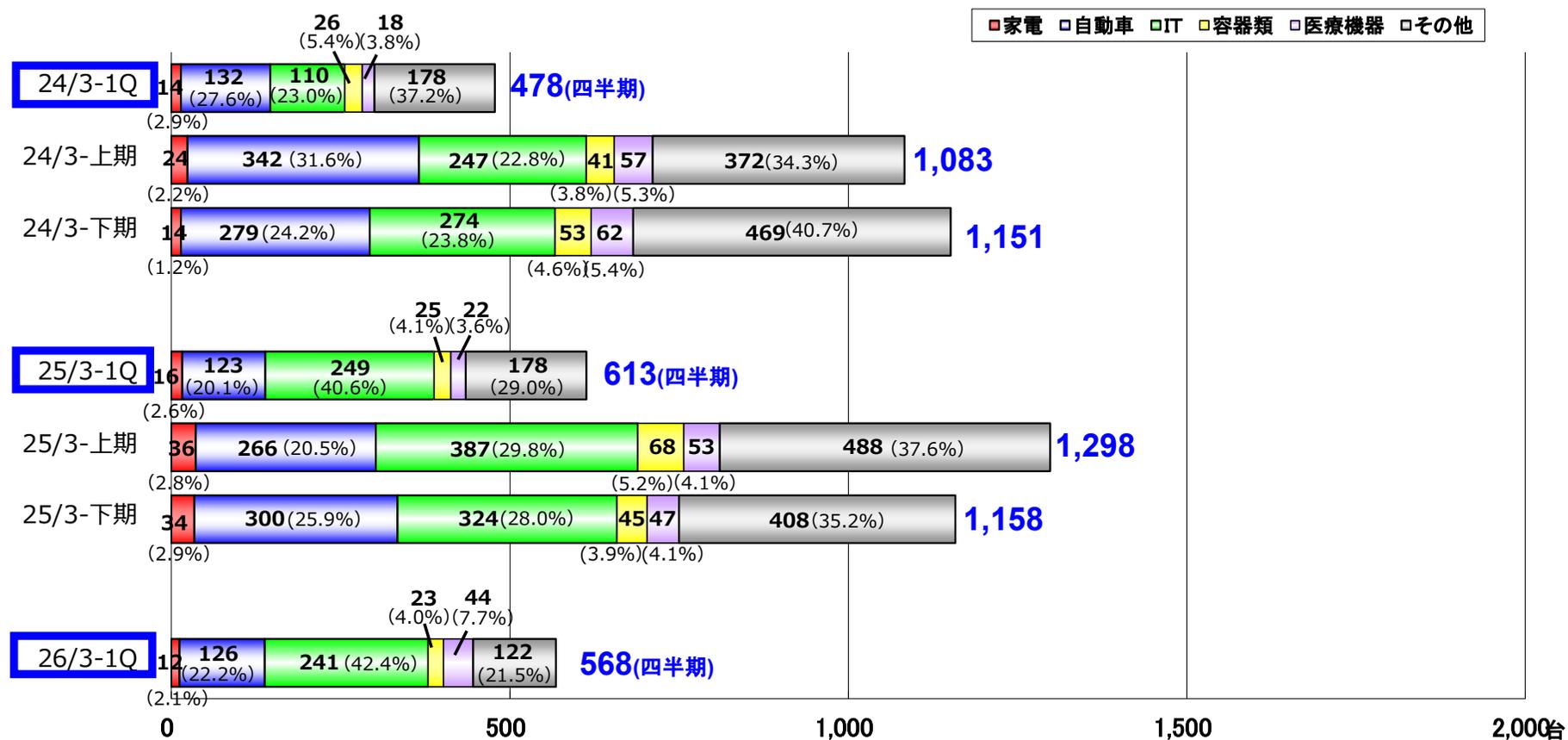
全国推移 (国内生産分のみ)



出所: 日本プラスチック機械工業会 統計

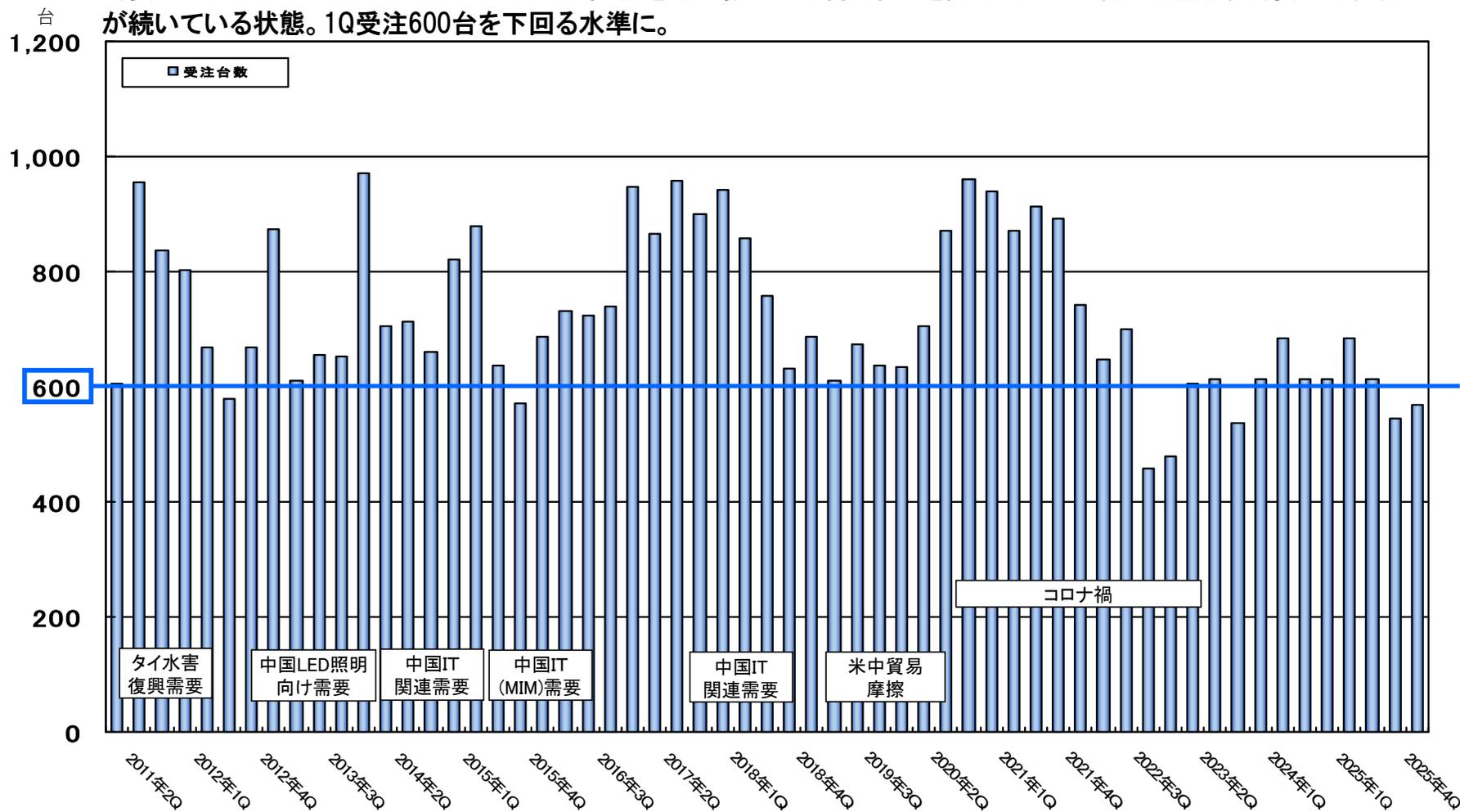
射出成形機の需要先別受注台数推移 (当社)

- ・26/3期1Qの受注台数は568台。前年同期比7.3%減。
- ・自動車は国内減少・海外微増。
- ・IT関連は東アジア向けを中心に堅調に推移
- ・前年同期比で単価は1,074千円下落



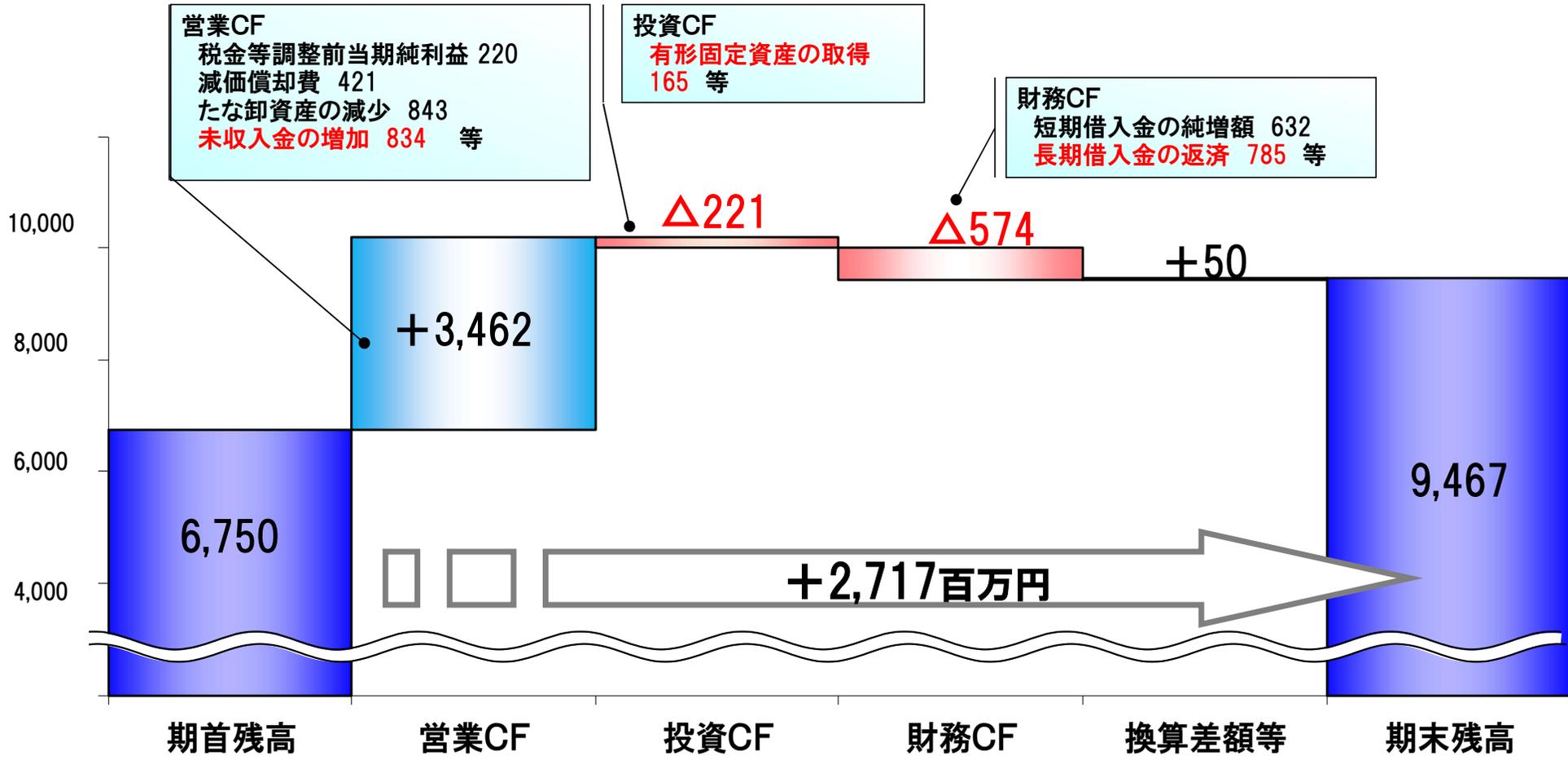
射出成形機の四半期別受注台数推移(当社)※単体における契約ベース

需要に大きくブレーキがかかっていた2023年5月を底に緩やかな持ち直しを見せたが、回復には至らず需要の不安定さが続いている状態。1Q受注600台を下回る水準に。



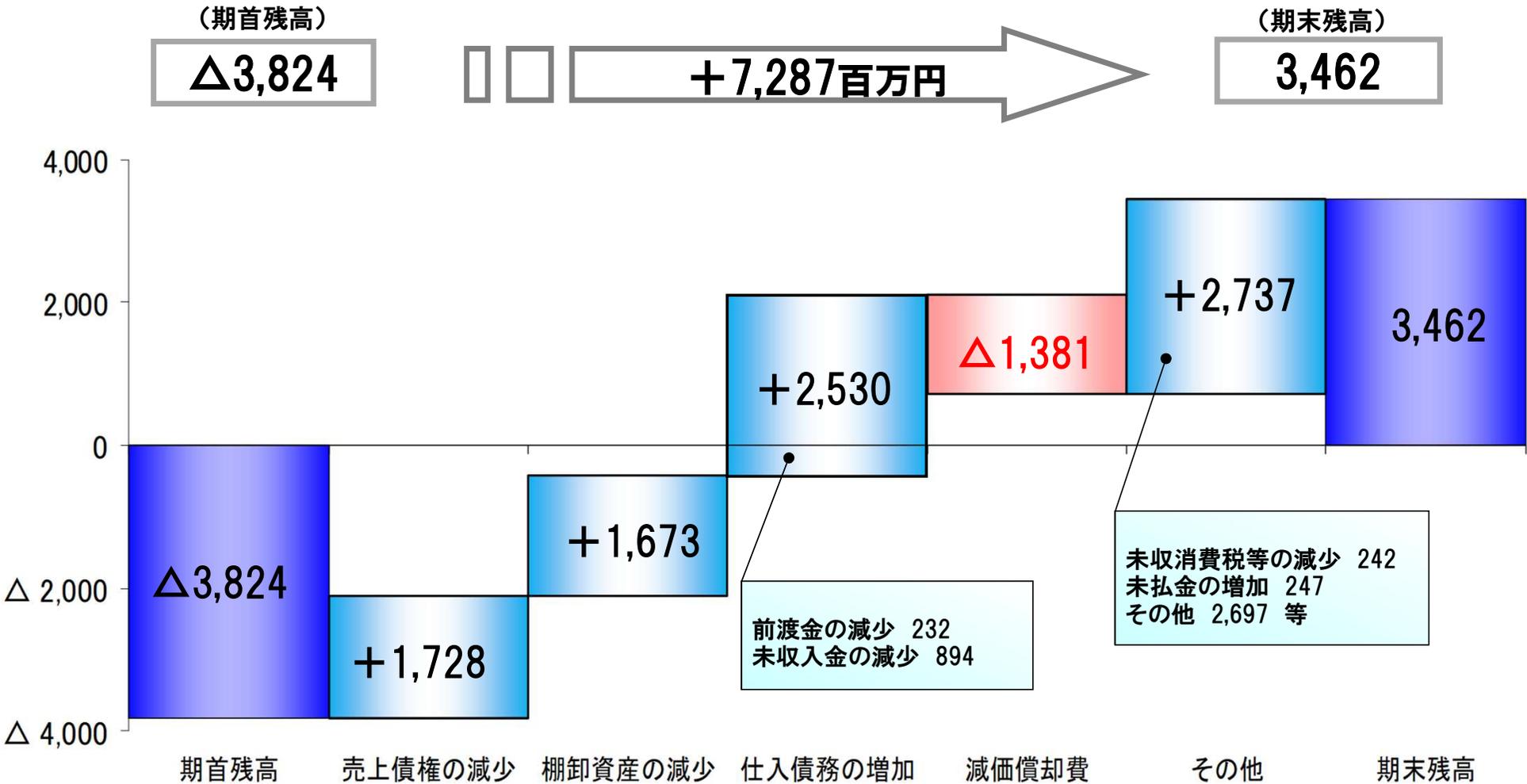
ご参考

連結キャッシュフロー ～現金及び現金同等物の増減～



ご参考

営業キャッシュフロー増減



2026年3月期計画について

経営方針

1. グローバル経営の強化
2. 人的資本の拡充
3. DX技術を駆使した製品の更なる進化
4. 積極的な営業展開
5. 生産体制の強化
6. リスク管理体制の強化

2026年3月期上期 連結損益計画

単位：百万円、比率%

	2026年3月期	2026年3月期 連結計画	
	1Q実績	上期計画	達成率%
売上高	9,890	21,100	46.9%
営業利益	△148	600	—
(利益率)	△1.5	2.8	—
経常利益	220	600	36.7%
(利益率)	2.2	2.8	—
当期純利益	82	350	23.6%
(利益率)	0.8	1.7	—

連結設備投資・研究開発計画

百万円

	2026年3月期計画 ()は予算申請分	2026年3月期 1Q実績
主な設備等		
	PC・サーバ更新 33	第3工場ホイスト交換 5
	本社空調設備入替 215	第7工場ホイスト交換 10
	PLA木粉コンポジット量産用設備 137	
	第5工場設備レトロフィット 42	PLA木粉コンポジット量産用設備 41
	本館・工場照明LED化 31	
	海塩 三次元測定器 28	海塩工場設備費用(建物・構築物・建仮) 102
	海塩 加工製作工具・治具 7	
	(日精メタル 設備増強) (215)	
	(日精ホンマ 設備増強) (295)	
	その他設備投資維持投資、ソフトウェア等 157	その他設備維持投資、ソフトウェア等 68
設備投資総額	650	226
本社出資		
減価償却費	1,839	421
研究開発費	384	100

第5次中期経営計画について

当社の経営ミッション・方針とそれに基づく経営目標

【経営ミッション】

私たちの経営ミッションはお客様の価値を創造することです。そしてお客様に満足していただき、射出成形技術を通して社会に貢献します。

【経営理念】

世界の日精
プラスチックを通して人間社会を豊かにする

【経営目標】

1. グローバル経営の更なる強化

世界規模での市場トレンドや地域重要性を踏まえ、グループ力を発揮してグローバル経営を展開する

2. お客様満足度の充実

お客様の生産活動をトータルにサポートする<成形プラットフォーム企業>に進化する

3. 環境経営の強化

独自技術に磨きをかけプラスチックのサステナビリティを追求し、循環型ビジネス確立に寄与する。また、プラスチックの資源としての有用性を発信・啓蒙していく

第五次中期経営計画【70期～72期】

1. グローバル経営の強化

- ・グローバル経営環境を意識した製・販・財戦略とマネジメント体制を強化する

2. 人的資本の拡充

- ・人的資本を最も重要な経営資源とし、各事業戦略のベースと位置付ける
- ・あらゆる世代が技術・能力をフルに発揮できる環境を整備する
- ・グローバル人材の採用と活躍できる環境を構築する
- ・全ての従業員が自身の強みを磨き、更なるスキルアップを図れるよう支援する

3. DX技術を駆使した製品の更なる進化

- ・射出成形機の制御技術を高度化する
- ・ソリューション技術としてAI、IoTの開発・提案・導入を行う
- ・持続可能な開発目標（SDGs）、成形の理（ことわり）を具現化する製品の計画的投入

経営方針

4. 積極的な営業展開

- ・課題解決企業として各種ソリューション技術やお客さまが儲かる商品を提案し、お客さまの価値創造をサポートする
- ・地域戦略、販売戦略を明確にし、積極的な営業を展開する
- ・IoT活用等によるサービス部門の強化、サブスクリプション商品の取扱開始に取り組む

5. 生産体制の強化

- ・グローバル調達体制の強化と、内製化率向上により更なるコストダウンを図る
- ・5極プラスワン生産体制により生産能力を増強するとともに、生産技術力と品質保証体制を強化する
- ・生産体制のDX化

6. リスク管理体制の強化

- ・コーポレートガバナンス、BCP等に対応したグローバルリスク管理体制を強化する

わが社が目指す3年後の姿

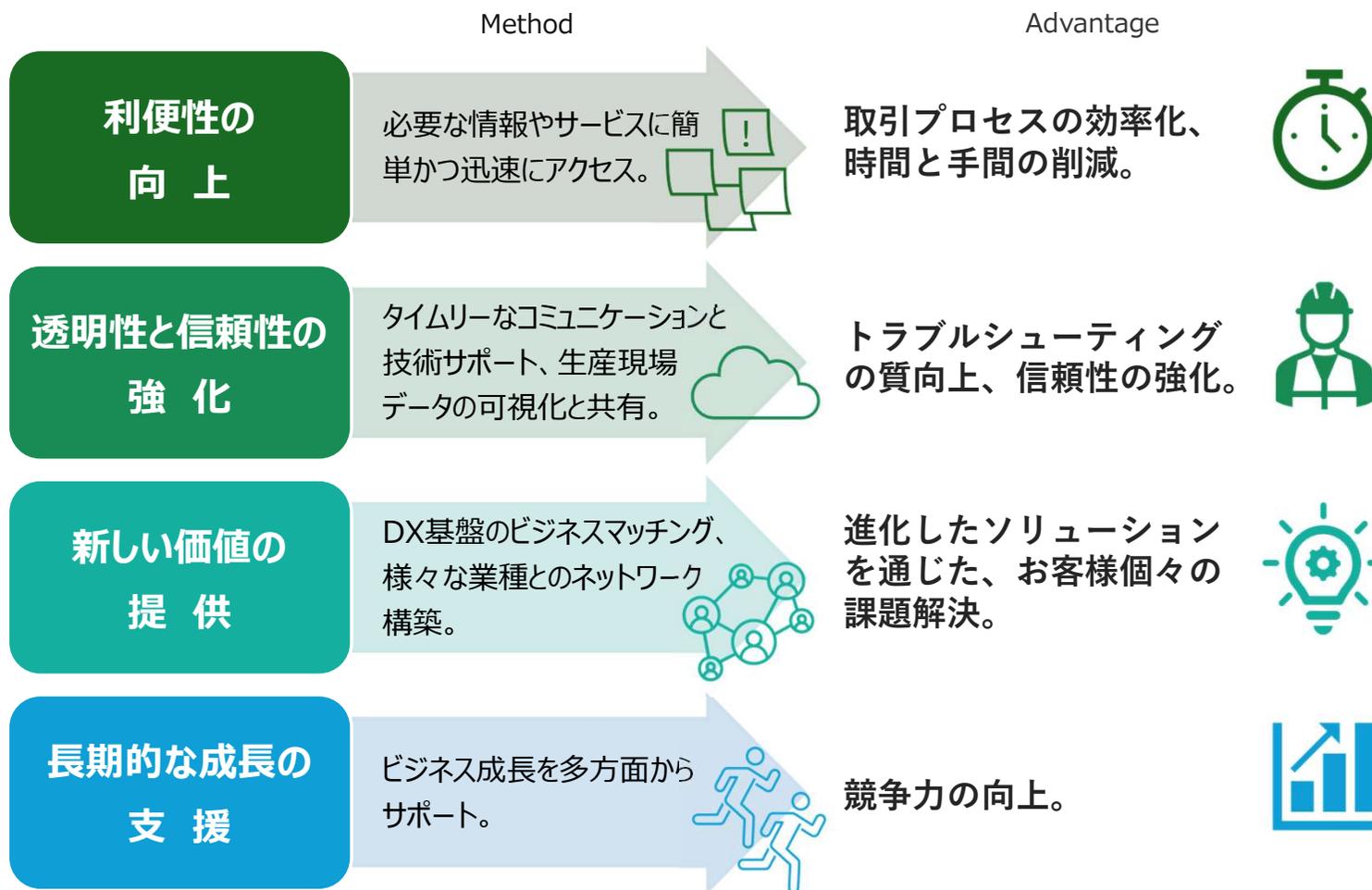
本3カ年は

当社グループとお客様をDXで繋ぐ基盤となる

プラットフォームを創出する

第五次中期経営計画【70期～72期】

このプラットフォームの創出により以下のことが可能になります



第五次中期経営計画【70期～72期】

わが社が目指す姿 成形プラットフォーム企業とは

- 射出成形機や関連ソフトの開発・販売
- 成形機の可塑化診断サービス・リモートメンテナンス・AIチャットサービス
- 工場レイアウト・生産支援・物流支援・専門人材の育成や紹介・
成形加工業のマッチングサービス・製品デザイン・パートナーシップサービス
(金融)



これらのモノづくりに関わる包括的なソリューション
をコンテンツとして提供できる企業

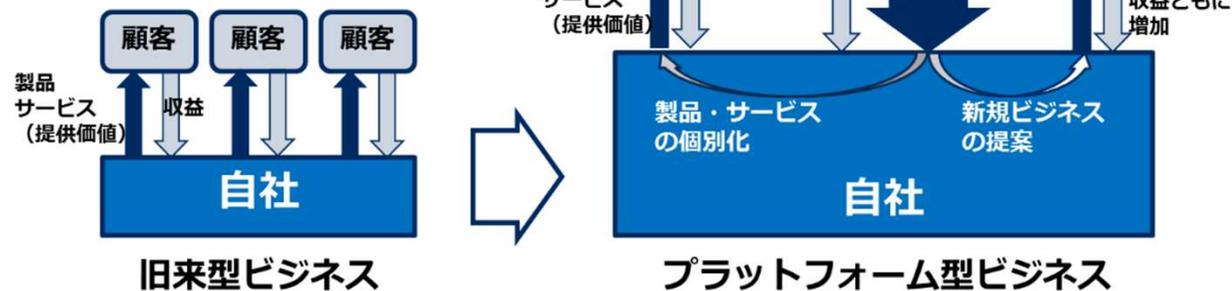
第五次中期経営計画【70期～72期】

PIプラットフォーム構築

@p-industry

日精樹脂とお客様をDXで繋ぐ基盤となる場としてのプラットフォーム構築

旧来型ビジネスからプラットフォーム機能の提供によって
お客様へ自社製品だけでなく他社の製品・サービスも巻き込み、総合的な高付加価値を実現するための仕組み



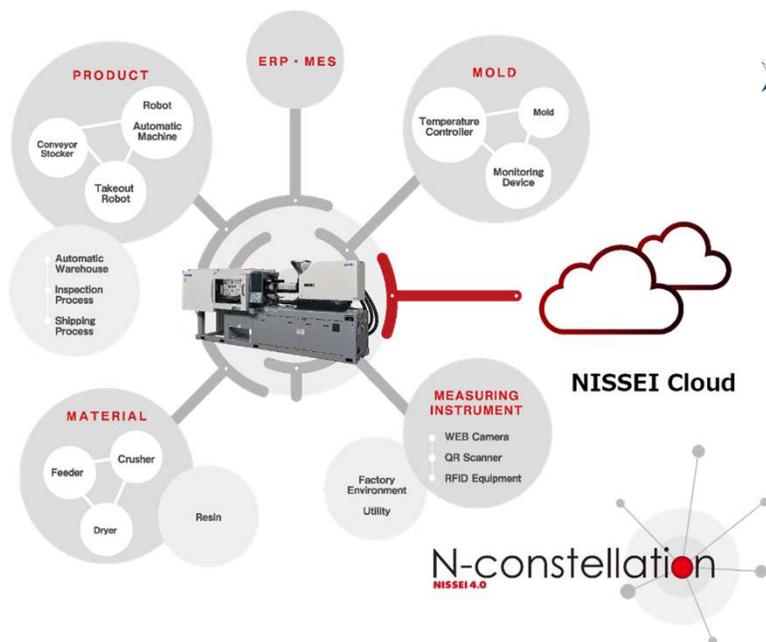
第五次中期経営計画【70期～72期】

PIプラットフォーム構築

プラスチック成形工場のDXを実現するIoT技術・AI技術の展開

- ✓ 世界的な成形技術者不足、人手不足、技術の継承などの製造現場の課題解決に向け、DXやIoTを活用した生産支援や生産効率の向上につながる製品開発や研究開発を広く展開し進めています。

IoT、AIサポートの活用によりお客様のDX化に貢献、お客様が利益を創出する“スマート”成形工場の実現に向けた提案を行います。



成形工場のDX化技術

➤ N-Constellation

射出成形機が“ハブ”となり様々な周辺機器をつないで業務遂行を支援。収集したデータを有効活用することで、お客様が利益を創出するスマート成形工場の実現に向けた提案を行います

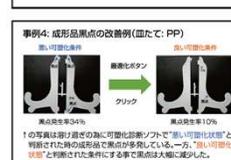
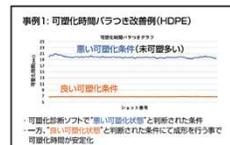
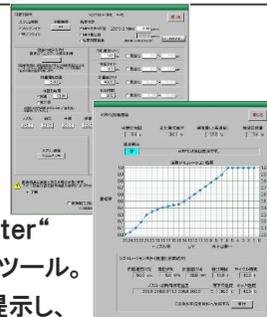
- ✓ 周辺装置の操作・表示を成形機のタッチパネルに集約し、作業負荷の低減・作業性の向上を実現
 - ✓ PQ ManagerやMES(製造実行システム)等の上位システムと連携することで計画から生産まで一貫したデータ管理が可能
- ⇒ 今後当社保有のビックデータとAIツールを活用し、予知保全・成形プロセスの最適化、さらに成形条件設定の自動化等を見据えた開発を進める

新中期経営計画 【70期～72期】

PIプラットフォーム構築

段取り作業のDX化技術

- 成形条件の最適化
- ✓ 成形不良現象≒可塑化不良が原因であると考えて開発したソフト“MeltMaster”
MeltMasterは、成形の経験が少なく成形条件出しに困っている方のサポートツール。
お客様が個々の条件を入力することで、最適な熔融状態となる可塑化条件を提示し、
不良を防ぎ、条件出しの効率化を図ることができます。



◀ TACT画面で電力モニタを表示できる

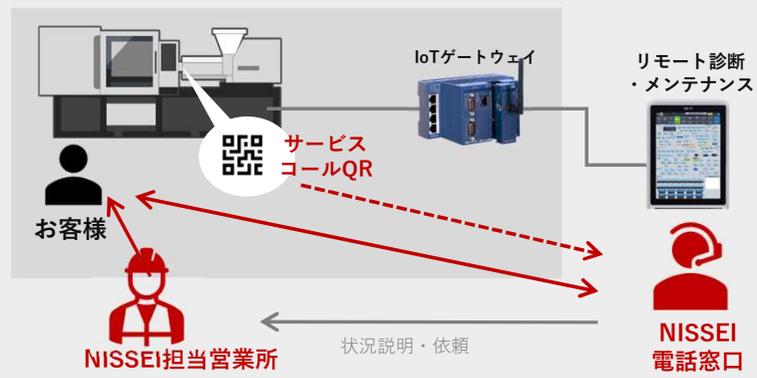


成形工程のDX化技術

- 消費電力の使用状況のリアルタイム表示と回生電力の有効活用
 - ✓ 消費電力の見える化
 - ✓ モータが減速や停止する際に発生するエネルギーを回収し再利用電気を無駄なく使用することで消費電力削減・CO2削減に貢献します。
- QRコードを活用した生産管理システム N-QR Scan
 - ✓ ネットワーク不要で低コストにデータを収集、日報の電子化・自動化を実現

メンテナンスのDX化技術

- サービスコールQR・リモートメンテナンス
 - ✓ 射出成形機のタッチパネル上に表示したQRコードをスマホで読み取って送信するだけで、成形機の情報当社と共有し、サービスコールを円滑化
 - ✓ リモートメンテナンス機能により訪問前に機械の状態診断と実際のモニターデータを共用しながらサポート
⇒ 問題発生時の即時対応を実現し、生産の中断を最小限に抑える



第五次中期経営計画【70期～72期】プロダクト・コスト戦略

米国・テキサス州

日本

- FVX安定生産、製販財一体運営
- 工場増築完了、大型機生産準備
- 倉庫スペースの活用
- 現地調達への推進



Nissei Plastic Machinery America Inc.



日精ホンママシンリー



日精メタルワークス

- 本社
内製化率38%、ガイド継手内製拡大
- NMW
塗装設備省力化、内製化促進、外注品取込み
- NHM
日精パーツセンター、西日本TCの活用、工作機械受注、台湾部品の活用とコストダウン

中国・太倉市
海塩県

- 太倉工場：欧州向け増産
- 海塩工場：加工品量産
- 内製加工率の向上、本社生産機への加工品展開



日精塑料機械(太倉)有限公司



Nissei Plastic Machinery (Thailand) Co., Ltd.

タイ
ラヨーン県

- 仕向地別生産機種の見直し
- 現地調達率の向上
- 内製化の推進、加工設備増強検討

生産6拠点生産方針

5極プラスワン生産体制により生産能力を増強

イタリア・ミラノ

インド・アーメダバード

- NB社早期黒字化と定着
- ドイツ市場進出を見据えた開発
- NB社による太倉NEX機販売
- NB社生産拠点、サプライヤー、販売・サービス・代理店網の活用



NEGRI BOSSI S.P.A



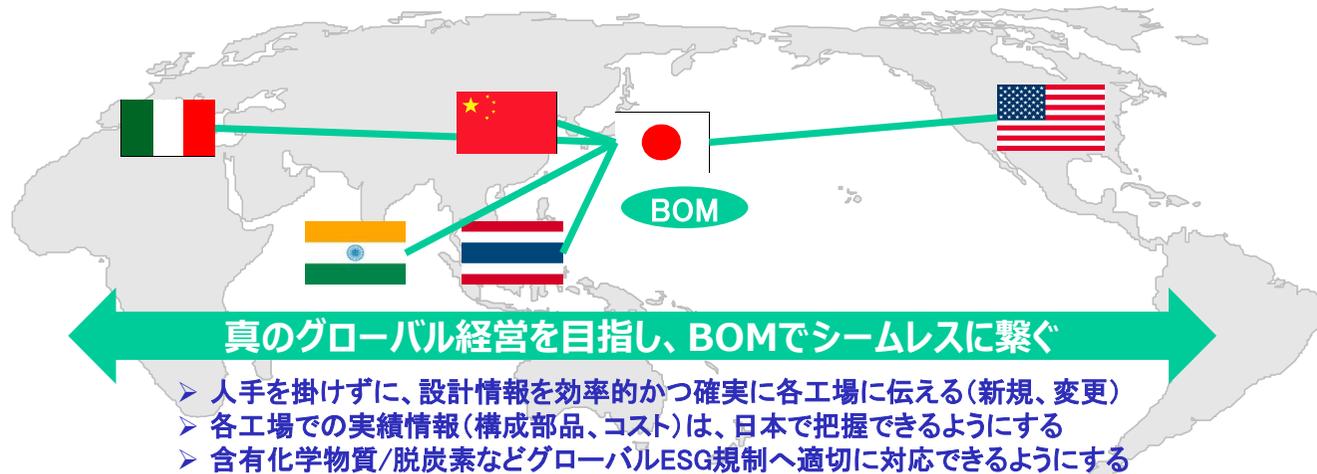
NEGRI BOSSI INDIA

- 工場立ち上げ。70期末工場インフラ整備完了
- NEX III 180の組立
- 量産体制の確立
- 現地調達とコストダウン

第五次中期経営計画【70期～72期】新基幹システムの構築

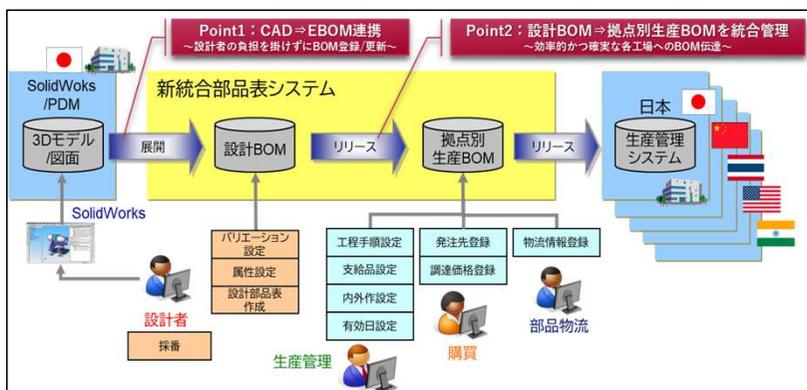
当社にとっての統合BOMの目指すべき姿

真のグローバル経営強化のために、BOMで各拠点をシームレスに繋ぐ



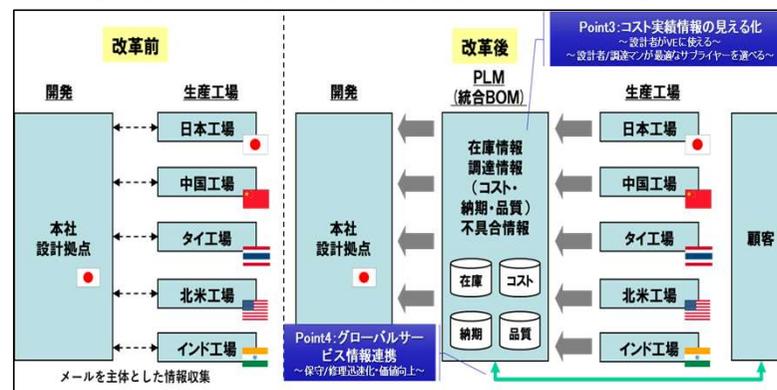
目指す統合BOMコンセプト①

人手を掛けずに、設計情報を効率的かつ確実に各工場に伝える(新規、変更)



目指す統合BOMコンセプト②

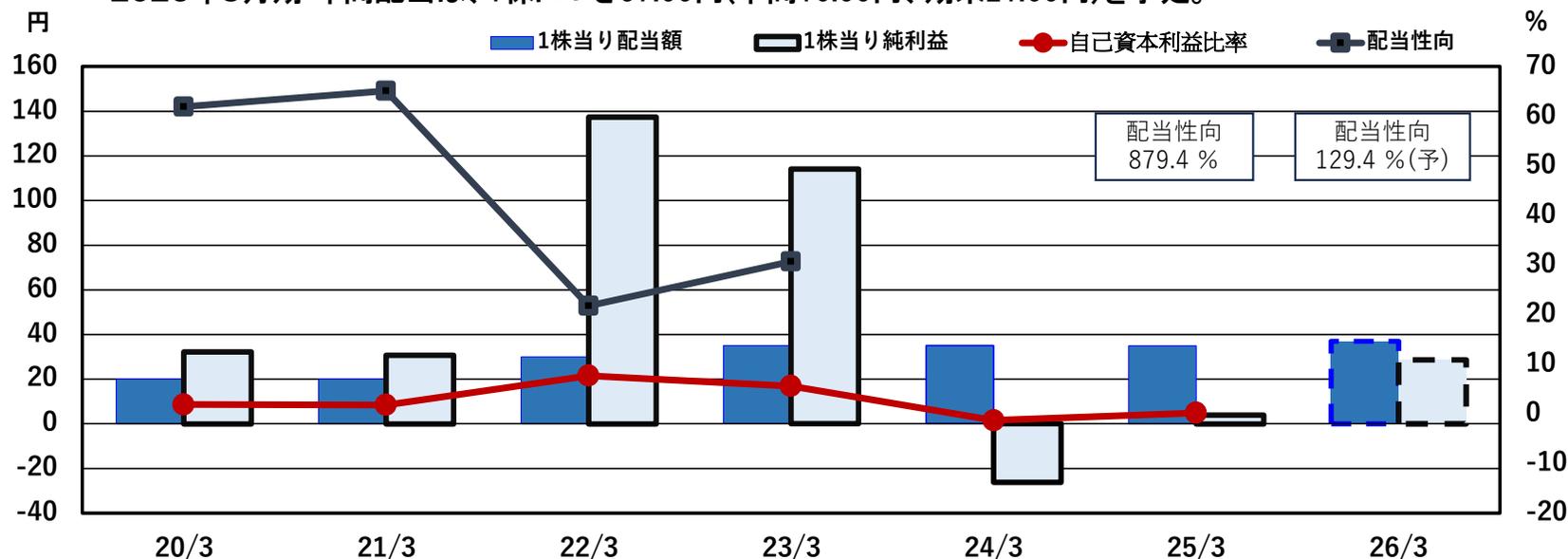
各工場での実績情報や市場不具合情報は、日本で把握できるようにする



配当について

年間配当金／配当性向(連結)の推移

- ・ 2026年3月期 年間配当は、1株につき37.00円(中間16.00円、期末21.00円)を予定。



	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期	2025/3月期	2026/3月期 (予想)
1株当り純利益	32.30円	30.71円	137.43円	114.13円	△26.16円	3.98円	28.59円(予)
1株当り配当額	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円	35.00円	35.00円	37.00円(予)
中間配当	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円	15.00円	15.00円	16.00円(予)
期末配当	5.00円	15.00円	15.00円	15.00円	20.00円	20.00円	21.00円(予)
配当性向	61.9%	65.1%	21.8%	30.7%	—	879.4%	129.4%(予)
自己資本利益率	1.9%	1.8%	7.7%	5.6%	△1.3%	0.2%	—

今後のスケジュール



日精樹脂工業は
お客様とともにプラスチックの新しい価値を創造していくため
イベント&セールスプロモーション『NISSEI RED』を展開しています。

環境負荷を減らし持続可能な社会を実現するための環境対応技術、
お客様が抱える「成形加工における煩わしさ」を解決するためのソリューション技術、
さらにものづくりの高度化を推進するための技術提案・交流の場として、
国内外でプライベート展の開催に注力しています。

イベントテーマ：
Inclusive Growth（包括的成長）

K2025

〈会期〉2025年10月8日～15日
〈会場〉Messe Düsseldorf
(デュッセルドルフ、ドイツ)

KEY POINTS

・NEG RI BO SSI(イタリア)とのコラボレーションによる最新成形機と成形技術の実演

NISSEI RED EXHIBITION in 群馬

〈会期〉2025年 10月23日～25日
〈会場〉ピエント高崎 (高崎市)

KEY POINTS

・群馬と北関東地域の顧客開拓
・主に、自動車業界に向けたソリューション技術提案
・成形工場におけるDX・IoT技術のご紹介

NISSEI RED EXHIBITION in 東大阪

〈会期〉2025年12月10日～12日
〈会場〉ハナミズキホール (大阪市)

KEY POINTS

・雑貨・日用品関連技術と最新成形技術、NISSEI デジタル技術のご紹介



日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
